

産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業
首都圏に立地する大学における産業界のニーズに対応した教育改善
最終報告シンポジウム

テーマ2

社会的・職業的自立力の測定手法の開発

法政大学 経営大学院
イノベーション・マネジメント研究科
教授 藤村 博之

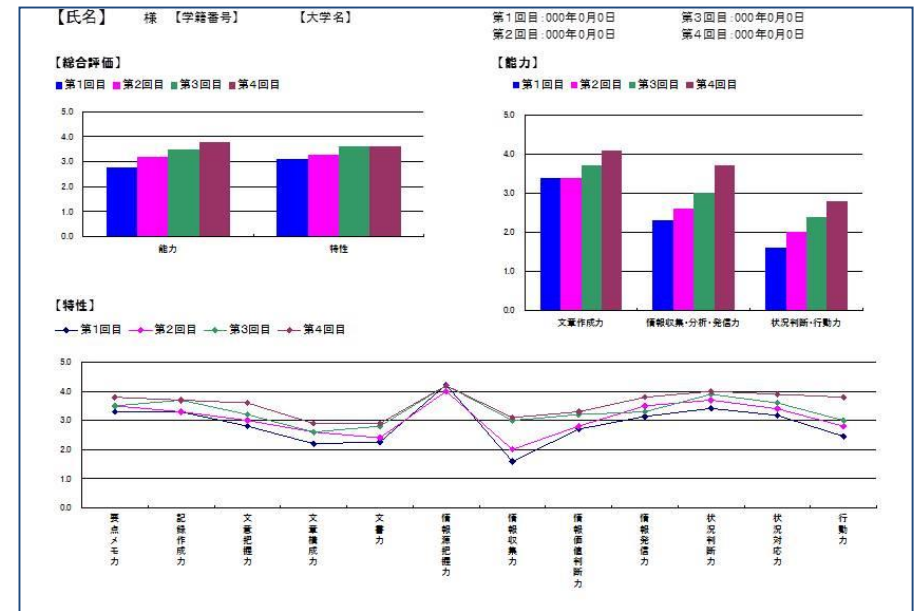
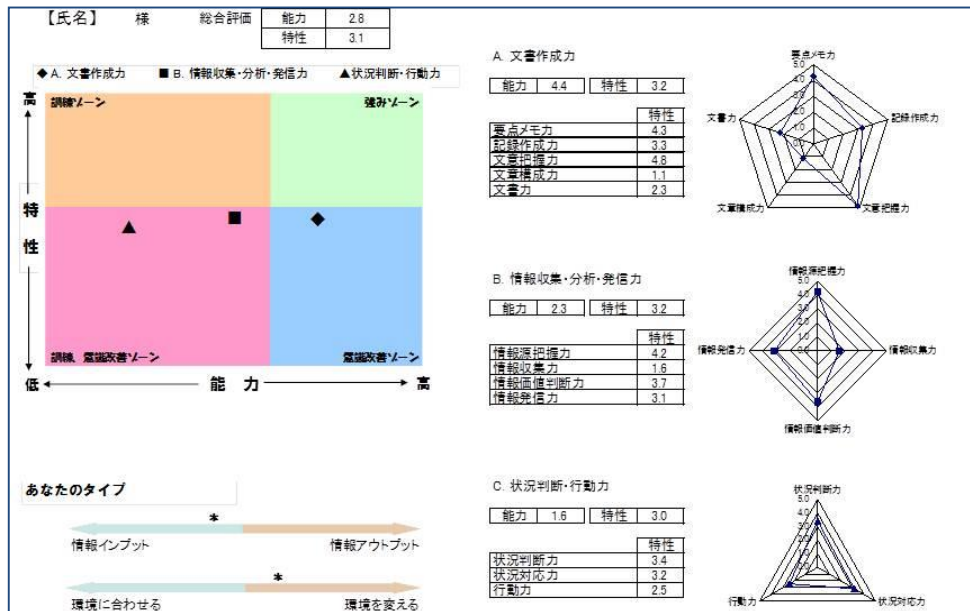


取り組みの目的

- 学生の能力向上を客観的に測る手法が必要である
- ペーパーテストはたくさん開発されているが、それで測ることのできる能力は限られている
- 学生の行動についても比較的安価に測ることが求められている
- 毎年1回、測定することで、4年間の能力の伸びを把握できる

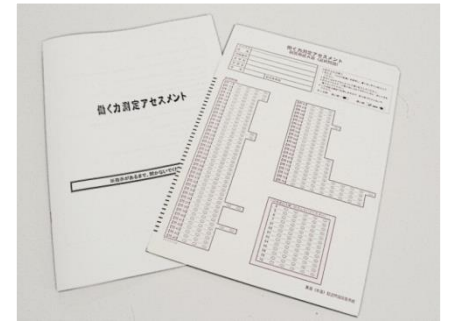
ペーパーテスト×ビジネスゲーム

ペーパーテストとビジネスゲームの組み合わせにより、能力と特性という2つの観点から働く力を診断。診断結果から自身の『強み』と『弱み』を確認でき、課題が明確化される。



ペーパーテスト

働く力の「特性」及び文書作成力の「能力」を診断。選択問題だけでなく、ヒアリングテスト、筆記問題を取り入れることにより、より多角的な診断が可能となる。



- 所要時間: 80分
- 設問: 76問 ヒアリングテスト 2問 (CDを使用)
 選択問題 61問
 筆記問題 13問

ビジネスゲーム

参加者は2～5名1チームとなります。他のチームは同じ会社の他支店で、会社全体の目標を達成するために協力しつつ、最終的な利益額を競いあう。

- ・ 時間: 90分
- ・ 参加人数: 25～50名

カリキュラム

導入
15分

- アイスブレイク
- ルール説明

体感
60分

- 会社の目標である売上高を全チームで協力して達成する
- 原料の仕入、製造、販売の各過程でそれぞれの支店(チーム)に強み・弱みがあるため、補完する形で協力関係が成り立つ
- 協力関係を構築するためには利益配分の方法などで合意形成が必要なため、仕組みの理解力、合意案の提示力、プレゼンテーション力などが総合的に問われる

振り返り
15分

- 自分の行動は目的の達成にどのように役立ったか
- 自分自身の強み・弱みを把握する



ビジネスゲームのグッズ例

ツール	珈琲機	珈琲機	珈琲機	珈琲機

イタリア		国産 1期	
商品名	仕入価格	仕入価格	仕入価格
珈琲機	1000	500	500
ソーラーパネル	800	500	500
ソーラーパネル	★1000	2800	500
ソーラー	1000	500	500
ソーラー	★1000	500	500

50	GOLD	10	GOLD
500	GOLD	100	GOLD

※イタリア、国産、国産1期は、
ソーラーパネル、ソーラーパネル

1. 「働く力測定アセスメント(HAT)」の実施」

(1) 第1フェーズ(2012年度)

開発中の「働く力測定アセスメント(HAT)」を連携大学に協力を依頼して、より多くの学生に受けてもらい、「働く力測定アセスメント(HAT)」の特性と、現代の学生の能力と特性を把握しました。

対象学生	実施日	会場	参加者数
連携18大学	2013年2月1日(金)	法政大学 市ヶ谷キャンパス	合計: 24名 ・法政大学: 23名 ・明治学院大学: 1名
東京家政大学	2013年2月13日(水)	東京家政大学 板橋キャンパス	合計: 64名 ・東京家政大学: 59名 ・東京家政大学短期大 学部: 5名
東京家政大学 短期大学部	2013年2月20日(水)		合計: 54名 ・東京家政大学: 46名 ・東京家政大学短期大 学部: 8名



(2) 第2フェーズ(2013年度)

前半は、第1フェーズの結果をもとにアセッサーミーティングやセミナーを開催し、各方面の専門家の意見を参考に評価・検証を行いました。後半では、連携大学で本格的に実施しました。

対象学生	実施日	会場	参加者数
連携18大学	2013年9月12日(木)	法政大学 市ヶ谷キャンパス	合計:35名 ・青山学院大学:9名 ・昭和女子大学:10名 ・東京未来大学:2名 ・明治学院大学:3名 ・法政大学:11名
	2013年8月6日(火)	法政大学 市ヶ谷キャンパス	43名
法政大学	2013年11月5日(火) 2013年11月12日(火)	法政大学 市ヶ谷キャンパス	68名
	2013年11月7日(木) 2013年11月14日(木)	法政大学 市ヶ谷キャンパス	113名
東京家政大学	2013年9月17日(火) 2013年9月18日(水)	東京家政大学 板橋キャンパス	54名
昭和女子大学	2014年1月11日(土)	昭和女子大学	53名
女子美術大学	2014年3月10日(月)	女子美術大学 杉並キャンパス	55名

(3) 第3フェーズ(2014年度)

連携大学で本格的に実施しました。その結果、「仕事をするための基礎知識」や「仕事をするためのリテラシー」、「働く上での姿勢」などを測定することができる手法を開発することができました。

対象学生	実施日	会場	参加者数
連携18大学	2014年8月6日(木)	法政大学 市ヶ谷キャンパス	合計:64名 ・東京家政大学:7名 ・明治学院大学:4名 ・青山学院大学:2名 ・法政大学:51名
	2014年9月10日(木)	法政大学 市ヶ谷キャンパス	合計 15名 ・青山学院大学:1名 ・明治学院大学:1名 ・法政大学:13名
法政大学	2014年10月28日(火) 2014年11月4日(火)	法政大学 市ヶ谷キャンパス	89名
	2014年11月6日(木) 2014年11月13日(木)		126名
東京家政大学 東京家政大学 短期大学部	2014年9月9日(火)	東京家政大学 板橋キャンパス	合計:47名 ・東京家政大学:44名 ・東京家政大学短期大 学部:3名

2. 「働く力測定アセスメント」 アセッサー養成プログラムの実施

(1) アセッサーミーティング(アセッサー候補者への説明・質疑応答)

日時:2013年6月24日(月)

会場:法政大学 市ヶ谷キャンパス 外濠校舎

内容:アセスメントツールの現況説明と、育成ビデオを用いた説明、および
今後のアセスメント展開についての質疑応答・意見交換を行いました。

参加者:7名



(2) アセッサーセミナー&ワークショップ

日時:2013年7月29日(月)

会場:法政大学 市ヶ谷キャンパス 九段校舎

内容:アセッサーのトレーニング・モニター学生を用いたワークショップを
行いました。

参加者:7名